

平成31年3月25日

現状・課題	事業内容	実施状況及び今後の主な取組み（案）
<p>[利用者ニーズへの対応]</p> <p>○目的地への移動利便性の向上 バスサービスの満足度が低い項目である「運行本数」「ダイヤ」「最終便の時間」「待合環境」「料金」「運行経路」の改善により、目的地への移動利便性を向上させる必要がある。</p> <p>○移動時間帯に応じた利便性の向上 朝の時間帯は通勤・通学利用が中心で定時性が求められ、それを過ぎると通院や買物移動の需要に移り、高齢者にはお昼前後に帰宅したいというニーズがある。時間帯に応じて利用者層や公共交通へのニーズも変わることから、移動時間帯に応じた利便性の確保が求められる。</p> <p>○外来者や観光客に対応したバスサービスの向上 公共交通で訪れた県外観光客、外国人観光客あるいは仕事等による来訪者の移動手段として、路線バスの利用促進を図っていく必要がある。そのためには、観光客等の動向に対応した路線・ダイヤの確保、わかりやすい情報提供等により使いやすいバスサービスが望まれる。</p>	<p><移動利便性の向上></p> <p>事業1-1 通勤・通学利便性の向上 ※資料3 p1</p>	<p>○通勤・通学時間帯のダイヤルートの改善 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ※平成31年10月路線再編を目指し検討中 ⇒赤碕線の定光寺入口から出口区間を福守町・鴨川町方面経由のルートに変更し、倉吉農高・倉吉西高周辺を經由する路線の新設を検討中（上り3便、下り3便） ⇒倉吉駅から倉吉総産高区間を運行する倉吉総産高への通学便の新設を検討中（上り1便、下り1便）</p> <p>⇒社線の倉吉農高への到着便の繰り上げを検討したが、JRとの接続によるダイヤ変更、学校の開始時間の変更等も困難</p> <p>※平成32年4月路線再編を目指し検討中 ⇒倉吉駅から鳥取短期大学・鳥取看護大学（以下、鳥取短期大学等という。）間を運行する鳥取短期大学等への通学便の新設を検討中。鳥取短期大学等と交通事業者の委託条件、交通事業者の交番等も含め継続検討</p> <p>○西倉吉工業団地へのバスの乗り入れ 【検討主体：県・倉吉市・交通事業者】 ※平成31年10月路線再編を目指し検討中 ⇒社線・北谷線の西福守町から国府西口区間を西倉吉工業団地内経由のルートに変更し、通勤便の新設を検討中（社線：上り2便、北谷線上り1便・下り1便）</p>
<p>○移動不便地域・公共交通空白地域への対応 バスの乗り継ぎがスムーズにいかず移動の際に長い待合時間が発生する移動不便地域や、バスが利用しにくい公共交通空白地域に対し、接続の改善、タクシー等を積極的に活用したデマンド型乗合タクシーやタクシー助成の充実等、状況に応じた移動支援を行う必要がある。</p>	<p>事業1-2 通院・買い物利便性の向上 ※資料3 p23</p>	<p>○河北地域へのバスの乗り入れ 【検討主体：県・倉吉市・交通事業者】 ※平成32年4月路線再編を目指し検討中 ⇒北条線・橋津線のルートの一部変更し、商業施設が集積する国道179号を經由する路線の新設を検討中。（北条線：上り1便・下り2便、橋津線：上り3便・下り2便）</p> <p>○病院と商業施設間の移動ダイヤの改善 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒倉吉未来中心周辺へのアクセス利便性の改善、河北地域へのバスの乗り入れなど、路線再編とあわせダイヤの改善を検討する</p>
<p>○待合環境・乗車環境の充実 未整備のバス停の整備推進に加え、乗降がしやすいように車両の低床化をさらに進めていくことやUD（ユニバーサルデザイン）タクシーの導入推進等を行っていく必要がある。</p>	<p>事業1-3 倉吉市中心市街地内移動の利便性向上 ※資料3 p29</p>	<p>○倉吉未来中心周辺へのアクセス利便性の改善 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ※平成32年4月路線再編を目指し検討中 ⇒北側ルートの過密ダイヤの緩和、観光移動利便性向上、医療機関へのアクセス改善等とあわせ、対象となる再編路線を検討中</p> <p>○医療機関へのアクセス利便性の改善 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ※平成32年4月路線再編を目指し検討中 ⇒倉吉未来中心周辺へのアクセス利便性の改善とあわせ、厚生病院、野島病院のアクセス改善を検討中 ⇒河北地域へのバスの乗り入れとあわせ、信生病院へのアクセスの改善を検討中</p>

現状・課題	事業内容	実施状況及び今後の主な取組み（案）
	<p>事業1-4 観光移動の利便性向上 ※資料3 p35</p>	<p>○観光地間をつなぐ路線・ダイヤの改善 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ※平成31年10月路線再編を目指し検討中 ⇒・北条線の起終点を由良駅とし、青山剛昌ふるさと館の営業時間帯（9～16時）に青山剛昌ふるさと館を経由する路線の新設を検討中（上り6便、下り6便） ・赤碓線の大栄庁舎前から由良新橋区間のルートの一部変更し、青山剛昌ふるさと館を経由する路線の新設を検討中（上り2便、下り2便）</p> <p>※平成32年4月路線再編を目指し検討中 ⇒三朝線と上井・三朝線の接続改善、フィギアミュージアム、白壁土蔵群・赤瓦、鳥取二十世紀梨記念館、三朝温泉などの観光地間を結ぶ路線の充実について、倉吉未来中心周辺のへのアクセス利便性の改善、三朝町内路線の再編と併せ検討する</p> <p>○観光客向けバスの発行・PR 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒今後、中部地域の一部区間で2日間乗り放題となる「湯～遊2デーバス」のエリア拡大を検討する</p> <p>○インバウンド対応の多言語化 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒観光関係者等へのヒアリングを実施済み。今後、バス路線図の多言語化など必要な対応を検討する</p> <p>○地域イベントの連携 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒各団体等が実施するイベントチラシに公共交通を利用する記載をしていただくようイベント主催者へ依頼済み。引き続き来年度も依頼を行う</p>
	<p><乗り換え抵抗の低減化> 事業2-1 円滑な移動のための環境整備 ※資料3 p54</p>	<p>○バス停及び主要拠点の待合環境整備 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ⇒再編計画の進捗にあわせ、新規バス停等の待合環境整備を検討中 ・西福守町・鴨川町、西倉吉工業団地内、国道179号沿いバス停など</p> <p>○住民等との協働による待合環境整備 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ⇒今後、バス停に鳥取短期大学の学生のデザイン導入などを検討する</p> <p>○バス車両のバリアフリー化、UDタクシーの利活用の推進 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒国の車両償却費補助制度を活用しノンステップバスの導入を進め、バリアフリー率が向上している</p> <p>(H28末) (H29末) (H30末) 【日ノ丸自動車】 71.9% ⇒ 74.1% ⇒ 80.0% 【日本交通】 72.3% ⇒ 78.9% ⇒ 82.0%</p>

現状・課題	事業内容	実施状況及び今後の主な取組み（案）
<p>[新規需要の掘り起こしと利用促進]</p> <p>○高校生のバス利用の促進 高校生のバス通学者を増やすことは利用者増の有効手段となる。通学手段の自家用車送迎からバス利用への転換を促す意識啓発や特定期のPR等を通してバス利用者の拡大に努め、併せて保護者負担の軽減化を図る必要がある。</p> <p>○企業・事業所によるエコ通勤の促進 職場の近くにバス停はあっても自宅周辺にバス停がないことや、勤務体制が3交代などの変則勤務の場合はそれに見合ったダイヤがないことなどから、現状ではバスによる通勤は限定的である。その一方で、今回の企業等を対象にしたアンケート調査結果ではエコ通勤に興味を示すところもみられることから、ダイヤの改善や意識啓発活動による利用促進の展開が望まれる。</p> <p>○総合的な利用促進 バス利用者が減少する中で、上記のように対象者を絞り込んだ利用促進策のほかに、普段自家用車利用をしている人に対しても幅広く意識啓発を促すパーク&ライドのほか総合的な利用促進の取り組みを行い、バス利用者の全体的な底上げを図る必要がある。</p>	<p>⇒UDタクシーを200台導入（うち中部地域30台）、環境整備（UD研修、乗り場整備）も実施済み。引き続き利活用策を検討する</p>	
	<p>事業2-2 乗り換え接続の改善 ※資料3 p56</p>	<p>○乗り換え接続時間の短縮化 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒通期・通学・通院時の利便性向上を図るため、今後、三朝町から倉吉市西部、赤碕町から倉吉市西部への乗換時の接続時間の短縮化を検討する</p> <p>○乗り換え情報の提供 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒今後、白壁土蔵群・赤瓦周辺のバス停に三朝方面へ行くバス路線への接続表示を検討する</p>
	<p>事業2-3 ICカードの導入に関する研究 ※資料3 p56</p>	<p>○ICカードの導入可能性の研究 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒ICカード導入には数億円単位の経費を要するため、QRコード決済導入の動きも含め、キャッシュレス化に向けて引き続き関係機関で検討する</p>
	<p><バス利用の促進></p> <p>事業3-1 高校生のバス利用促進 ※資料3 p57</p>	<p>○自家用車送迎からバス利用への移行促進 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ○割引定期のPRと利用促進 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ⇒学校別に高校入学説明会にあわせ、利用促進チラシを配布済み。引き続き来年度も実施する 配布先：中部圏域8高校 配布部数：2,720部</p> <p>○新たな割引制度・助成制度の創設 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒鳥取環境大学の土日に学生が無料で路線バスを利用できるシステムなど、鳥取短期大学等への新たな割引制度の導入を引き続き検討する</p>
	<p>事業3-2 高齢者等のバス利用促進 ※資料3 p60</p>	<p>○割引定期のPRと利用促進 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ○新たな利用助成制度の創設 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒公共交通利用促進キャンペーンにあわせ、各市町老人クラブに割引定期等のPRを実施済み。今後、他地域の事例を参考に新たな割引制度の導入を検討する</p> <p>○運転免許自主返納者等、移動困難者への対応 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒倉吉市が7/1より運転免許自主返納者への支援を開始。今後、各自治体での取組の拡充・見直し等を検討する <支援概要> ※支援要件あり ・シルバー定期券「グランド70」又はタクシー共通乗車券25,000円分を自己負担2,000円で購入できるよう助成（年2回）</p>

現状・課題	事業内容	実施状況及び今後の主な取組み（案）
	<p>事業3-3 企業・事業所のバス 利用促進 ※資料3 p6 4</p>	<p>○企業・事業所への意識啓発の取組み 【検討主体：県・市町・交通事業者】 ⇒エコ通勤に協力可能な企業・事業所を中心に公共交通利用促進チラシを配布。引き続き来年度も実施する 配布先：23 企業・事業所（確定次第修正） 配布部数：250 部（確定次第修正）</p> <p>○パーク＆ライドの促進 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ⇒公共交通利用促進キャンペーンや企業・事業所の公共交通利用促進チラシの配布等とあわせ働きかけを行う</p>

現状・課題	事業内容	実施状況及び今後の主な取組み（案）
<p>[持続可能な運行体制の確立]</p> <p>○効率的なバス運行への再編 本地域内には自治体間をまたがる長大路線が多く運行されている一方で、利用の少ない路線も見受けられる。また、中心市街地の構造から時間帯によって路線の重複も多い。将来にわたってバス路線を維持するため、実状に応じた運行の効率化に迫られている。</p> <p>旅客運送と貨物運送を組み合わせさせた貨客混載の取り組みについて、地域の実情に合わせて検討していく必要がある。</p> <p>○バス・タクシー乗務員の確保 全国的にバス・タクシーの乗務員不足・高齢化が進んでいるが、単にバス・タクシー事業者だけの問題ではなく、今後の公共交通の安定的な運行のために重要かつ不可欠な課題となっていることから、官民一体となった乗務員の確保・育成施策の展開が求められている。</p> <p>○住民との協働による運行の検討 本地域内の公共交通空白地域を一般乗合バスで細かくカバーすることは困難である。そのような地域では、自治会やNPOによる公共交通空白地有償運送や住民によるボランティア輸送等が考えられることから、必要に応じて住民との協働による運行について検討することが望まれる。</p>	<p><効率的な運行の実現></p> <p>事業5-1 効率的な運行形態への再編 ※資料3 p42</p> <hr/> <p>事業5-2 貨客混載の取り組み 検討 ※資料3 p71</p>	<p>○長大路線の効率化 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ※平成31年10月路線再編を目指し検討中 ⇒赤碕線（上下28便）の見直し（上下4便）及び倉吉農高・倉吉西高周辺を経由する路線（上下6便）、青山剛昌ふるさと館を経由する路線（上下4便）の新設を検討中</p> <p>※平成32年4月路線再編を目指し検討中 ⇒昨年10/1に路線再編した南部町の事例を視察済み。今後、三朝町内路線（穴鴨線・小河南線）の再編に向けて、通学便を除く時間帯の持続可能な効率的な運行を検討する</p> <p>○土日祝日のダイヤの見直し 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ⇒バスドライバーの労働条件改善の観点から、土日祝日は利用実態に合わせて見直す。 ⇒観光関係者のヒアリング実施済み。今後、バス事業者の交番等を考慮しながら、観光移動時間帯のダイヤ充実を検討する</p> <p>○タクシーの活用等による効率的な運行形態の導入 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ⇒三朝町内路線（穴鴨線・小河南線）の再編にあわせ、デマンド型乗合タクシーの導入等も検討する</p> <p>○中心市街地における過密ダイヤの緩和 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ⇒倉吉未来中心周辺へのアクセス利便性の改善とあわせ検討中</p> <p>○貨客混載の導入に向けた検討 【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】 ⇒貨客混載の導入に向けて、交通事業者と物流事業者間で協議しながら継続検討する</p>

現状・課題	事業内容	実施状況及び今後の主な取組み（案）
	<p><路線維持のしくみづくり></p> <p>事業6-1</p> <p>住民との協働によるしくみづくり</p> <p>※資料3 p71</p>	<p>○公共交通利用促進に関する情報提供</p> <p>【検討主体：県・市町・交通事業者】</p> <p>⇒関係機関が連携し、9月を公共交通利用促進強化月間と定め、9/20～30（バスの日・秋の全国交通安全運動期間）に集中的にキャンペーンを展開（県内全域）。引き続き来年度も実施する</p> <p><公共交通利用促進キャンペーン概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布、のぼり・パネル設置、交通トリピー等によるPRイベント実施 日時：H31.9.20（木）7:15～8:30 場所：倉吉駅周辺 ・各市町、主要駅、バスターミナル、集客施設等に公共交通利用促進PRポスター・のぼり掲出、チラシ配架等を実施 ・県政だより、市町広報紙、ケーブルテレビ等によるPR広報を実施 <p>○住民との協働による運行のしくみづくりの研究</p> <p>【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】</p> <p>⇒住民からの要望に応じ、住民が主体となって運行するしくみについての勉強会を適宜実施する</p> <p>○住民等との協働による待合環境整備への協力</p> <p>【検討主体：県・市町・交通事業者・住民】</p> <p>⇒「倉吉市住民参加型・地域企業貢献型バス停留所上屋整備事業補助金」により協働による待合環境整備に取り組んでおり、引き続き周知を行い整備推進を図る</p>
	<p>事業6-2</p> <p>持続可能な運行体制支援</p> <p>※資料3 p74</p>	<p>○ドライバーの確保・育成支援</p> <p>【検討主体：県・市町・交通事業者】</p> <p>⇒関係機関が連携し、ドライバー仕事PR、路線バス・UDタクシー運転体験会、交通事業者との就職相談会等を実施した。引き続き来年度も実施する</p> <p>日時：H30.12.15（土）10:00～12:00</p> <p>場所：運転免許試験場（湯梨浜町）</p> <p>参加者：13名</p>

<中部地域公共交通再編実施計画策定に向けた主な協議の経緯>

平成30年3月	鳥取県中部地域公共交通網形成計画策定
6月5日	H30第1回幹事会（再編実施計画の策定に向けたスケジュール及び利用促進等に係る検討）
6月20日	H30第2回幹事会（同上）
7月12日	H30第1回中部地域公共交通協議会（同上）
7月～	再編実施計画策定に向けた観光協会、企業・事業所、高等学校等の関係機関ヒアリング
9月27日	H30第3回幹事会（再編実施計画の今後の方向性及び利用促進等に係る検討）
10月15日	H30第4回幹事会（再編実施計画の検討状況について）
11月1日	H30第2回中部地域公共交通協議会（再編実施計画の検討状況の報告）
11月～	定期的（2週間に1回）に県・倉吉市・交通事業者等で路線再編案の検討、現地調査等を実施
平成31年2月20日	H30第5回幹事会（再編実施計画の検討状況について）
3月1日	H30第6回幹事会（同上）
3月25日	H30第3回中部地域公共交通協議会（再編実施計画の検討状況の報告）